



## 「任期制隊員ライフプラン集合教育」を実施



自衛隊静岡地方協力本部（本部長・根本博之（1等陸佐）は、6月15日（木）、陸上自衛隊滝ヶ原駐屯地（御殿場市）において、「平成29年度第3回任期制隊員ライフプラン集合教育」を実施した。これは、入隊後1年を経過した任期制隊員を対象とし、明確な自己分析に基づいた人生設計を確立させるとともに、職業選択及び資格取得等の能力開発の自助努力促進を目的とし、滝ヶ原駐屯地と北富士駐屯地（山梨県）から34人が参加した。

午前は現在の雇用情勢や自衛隊における人事制度、再就職支援策について説明を受け、また午後は男女に別かれ、部外講師を招きキャリア開発やライフプランの作成要領について講義を受けた。

対象者の中には今後の進路を決めかねている隊員もおり、今回の教育によって自らの特性把握や将来の進路の方向性を考える一助となった様子であった。

静岡地本は、任期制隊員が後顧の憂いなく職務に打ち込める再就職支援環境を整えるとともに、人生設計に必要な知識を学ぶ機会として部外から講師を招く等して隊員の進路設計教育を積極的に行い、隊員が自らの人生を前向きに歩めるような支援を実施していく。

## 「自衛隊統合防災演習」に参加



自衛隊静岡地方協力本部（本部長・根本博之（1等陸佐）は、6月20日（火）から23日（金）に陸上自衛隊朝霞駐屯地（東京都練馬区）で実施された「平成29年度自衛隊統合防災演習（29JXR）」に参加した。

これは、南海トラフ地震の発生を想定した災害対処要領について、静岡県を含む各自治体と自衛隊が共同で図上演練し、南海トラフ地震対処計画の実効性を検証するもの。

演習の中で静岡地本は、付与される様々な被害想定等に対し、災害時等に静岡県を担当する第34普通科連隊（板妻駐屯地）等と連携して県庁からの要望事項や被害状況の情報共有、自衛隊の情報システムを活用した上級部隊への報告要領等の検証・習熟を図った。

静岡地本は、今回の演習を通じて静岡県及び支援部隊との連携の更なる充実・強化の必要性を再認識するとともに、静岡県庁に最も近い自衛隊の機関として平素の即応態勢を充実させ、今回の教訓を活かし各種事態等の対応に万全を期していく。